

「ひょうりょう」経済

■ 経済部

TEL 07
FAX 07
e-mail

食品卸会社「マルハ物産」(洲本市)は、提携した農家から淡路産タマネギを固定価格で購入する取り組みを始めた。相場の変動にかかわらず一定の価格で買い取ることで、「高い品質のものを安定して仕入れ、農家を支援できる」(島野和夫社長)という。淡路産タマネギのブランド力を高める狙いだ。

(大月美佳)



タマネギ 固定価格で購入

ンやホテルなどの業者で取り扱いが始まった。

同社は1973年設立。従業員14人。売上高約10億円(2012年9月期)。

1~8月に大阪市場に集荷された県産タマネギの平均単価はキロ当たり72~167円。大きく振れる相場は農家経営の不安定要因で「農業離れの一因(原因)とされる」。

洲本の食品卸会社「マルハ物産」

は平均価格の倍以上。「生産を安定的に持続しかし、大量に安価なできる」と判断。曾根ではなく、他の作物でタマネギが出回る島内さんが求めた1キロ24も技術を持った農家とでは販路が開拓されて0円の価格で購入する提携する方針。島野社にないのが実情だ。ことにした。9月には長は「いいモノを作れ島野さんは相場を見 曾根さんのタマネギをば、地元淡路で受け入る。そんな動きを広学し、従業員全員に試 島内650件の取引先 される。そんな動きを広食させた。品質に加え、にアピール。レストラン げたい」としている。

ブランド力の向上狙う

高品質を安定仕入れ 農家支援へ

島野社長が固定価格での買い取りを決めたのは今年7月、南あわじ市のタマネギ農家曾根輝宏さん(52)から「相場に左右されずに生産に専念したい」と相談されたことがきっかけ。



店頭に並ぶ曾根さんのタマネギ。売れ行きは好調だ。洲本市淡路こちそう館 御食園

薬断診外 共同開発

国立がん研究センターと

シスメックス提携

見つけるほか、早期発見や経過予測、治療効果や副作用の予測に役立つといい、より効果的な治療が期待されるという。



シスメックス(神戸)「診断薬」として早期に製「可」欠。研究者が「不得意

シスメックスの家族